

2015年5月12日

Nissan Chemical,  
-where unique & solution meet

# 2015年3月期 決算説明会

---

説明者 取締役副社長 宮崎純一

NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

# 2014実績

(億円)

	2013			2014			増減			増減率	2014予想 (2014/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
売上高	764	873	1,637	799	913	1,712	+35	+40	+75	+5%	799	911	1,710
営業利益	106	116	222	125	128	過去最高 253	+19	+12	+31	+14%	125	116	241
営業外損益	5	10	15	2	9	11	-3	-1	-4	-29%	2	5	7
経常利益	111	126	237	127	137	過去最高 264	+16	+11	+27	+11%	127	121	248
特別損益 (1)	-	-	-	-4	-7	-11	-4	-7	-11	-	-4	-	-4
純利益	80	87	167	89	93	過去最高 182	+9	+6	+15	+9%	89	89	178
EBITDA (2)	146	162	308	162	176	338	+16	+14	+30	+10%	162	165	327
EPS (円/株)	48.62	53.49	102.11	55.15	58.84	113.99	+6.53	+5.35	+11.88	+12%	55.15	55.77	110.92
配当 (円/株)	14	16	30	14	22	36	0	+6	+6		14	16	30
配当総額	23	26	49	22	35	57	-1	+9	+8		22	26	48
売上高営業利益率	13.8%	13.4%	13.6%	15.6%	14.1%	14.8%	+1.8%	+0.7%	+1.2%		15.6%	12.7%	14.1%
ROE (3)	-	-	12.7%	-	-	12.7%	-	-	-0.0%		-	-	12.4%
為替レート (円/ドル)	99	100		103	117						103	103	
ナフサ (円/kl) (4)	64,700	69,900		70,400	56,700						70,400	70,000	
包括利益	100	104	204	102	139	241					102		

(1) 2014実績: 製品補償費用 -4億円(農業化学品パルサー固結補償関連)、ナフサパイプライン撤去費用 -7億円

(2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(3) 2014予想12.4%は、自己株取得前の自己資本で計算

(4) 財務省貿易統計ベース

# 2014下実績

## <前年比>

(売上高)	◆増収	+40億円 (+4.6%)	(増収) (横ばい) (減収)	機能性材料、農業化学、卸売 化学 医薬
(営業利益)	◆増益	+12億円 (+10.0%)	(増益) (横ばい) (減益)	化学、機能性材料、農業化学 卸売 医薬
(営業外損益)	◆減益	-1億円		
(経常利益)	◆増益	+11億円 (+8.4%)		
(特別損益)	◆減益	-7億円		
(純利益)	◆増益	+6億円 (+7.0%)		
(EPS)	◆増加	+5.35円 (+10.0%)		

## <2014/11業績予想比>

(売上高)	◆増収	+2億円	(上ふれ) (予想並み) (下ふれ)	機能性材料、農業化学 医薬 化学、卸売
(営業利益)	◆増益	+12億円	(上ふれ) (下ふれ)	化学、機能性材料、農業化学、医薬 卸売
(営業外損益)	◆増益	+4億円		
(経常利益)	◆増益	+16億円		
(特別損益)	◆減益	-7億円		ナフサパイプライン撤去費用
(純利益)	◆増益	+4億円		
(EPS)	◆増加	+3.07円		

## <配当>

◆中間14円、期末22円、計36円 (前年比:6円増配、2014/11業績予想比:期末6円増配)  
 ※参考:2013年度 中間14円、期末16円、計30円

# 2014実績

## <前年比>

(売上高) ◆増収 +75億円 (+4.6%) (増収) 機能性材料、農業化学、卸売  
(減収) 化学、医薬

(営業利益) ◆増益 +31億円 (+13.9%) (増益) 機能性材料、農業化学、卸売  
(横ばい) 化学  
(減益) 医薬

◆売上高営業利益率 14.8%  
2003年より12年連続10%以上維持

(営業外損益) ◆減益 -4億円

(経常利益) ◆増益 +27億円 (+11.2%)

(特別損益) ◆減益 -11億円 製品補償費用(農業化学品パルサー固結補償関連) -4億円、  
ナフサパイプライン撤去費用 -7億円

(純利益) ◆増益 +15億円 (+9.0%)

(EPS) ◆増加 +11.88円 (+11.6%)

(ROE) ◆12.7%(2013年12.7%)

営業利益・経常利益・当期純利益は、過去最高益を更新

(前回最高益: 営業利益・経常利益は2007年度、当期純利益は2013年度)

## <株主還元>

◆ 配当 36円(前年比:6円増配、配当性向31.6%)

◆ 自己株式60億円、2.8百万株取得(2015年1月 3百万株消却済み)

# 2014実績 営業外損益・特別損益・包括利益

(億円)

	2013	2014	増減
<b>営業外収益</b>	<b>30.0</b>	<b>29.0</b>	<b>-1.0</b>
受取利息・配当金	6.6	6.3	-0.3
持分法投資損益	9.6	10.9	+1.3
為替差益	4.1	4.8	+0.7
その他	9.7	7.0	-2.7
<b>営業外費用</b>	<b>15.3</b>	<b>18.6</b>	<b>+3.3</b>
支払利息	2.8	2.1	-0.7
固定資産処分損	2.8	3.3	+0.5
休止損	6.0	4.2	-1.8
その他	3.7	9.0	+5.3
<b>特別利益</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
<b>特別損失</b>	<b>0.0</b>	<b>11.0</b>	<b>+11.0</b>
<b>包括利益</b>	<b>204.1</b>	<b>240.9</b>	<b>+36.8</b>
純利益	167.0	182.0	+15.0
少数株主損益	1.9	1.8	-0.1
その他有価証券評価差額金	26.0	45.4	+19.4
為替換算調整勘定	9.2	9.5	+0.3
退職給付に係る調整額	-	2.2	+2.2

# 2014キャッシュフロー

(億円)

	2013			2014			増減			2014予想 (2014/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	上実績	下	計
営業キャッシュ・フロー	227	11	238	229	-25	204	+2	-36	-34	229	-2	227
税金等調整前純利益	111	126	237	123	130	253	+12	+4	+16	123	121	244
事業構造改善引当金の増減額	0	0	0	0	7	7	0	+7	+7	0	0	0
減価償却費	40	45	85	37	48	85	-3	+3	-0	37	49	86
法人税等の支払	-39	-31	-70	-37	-33	-70	+2	-2	+0	-37	-31	-68
運転資金増減他	115	-129	-14	106	-177	-71	-9	-48	-57	106	-141	-35
投資キャッシュ・フロー	-77	-58	-135	-28	-53	-81	+49	+5	+54	-28	-59	-87
設備投資	-41	-49	-90	-38	-48	-86	+3	+1	+4	-38	-61	-99
その他	-36	-9	-45	10	-5	5	+46	+4	+50	10	2	12
財務キャッシュ・フロー	-191	73	-118	-233	112	-121	-42	+39	-3	-233	115	-118
配当	-23	-23	-46	-26	-22	-48	-3	+1	-2	-26	-22	-48
借入金増減額	-167	146	-21	-207	195	-12	-40	+49	+9	-207	197	-10
自己株取得	0	-50	-50	0	-60	-60	0	-10	-10	0	-60	-60
その他	-1	0	-1	0	-1	-1	+1	-1	+0	0	0	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2	4	1	2	3	-1	+0	-1	1	-1	0
現金及び現金同等物の増減額	-39	28	-11	-31	36	5	+8	+8	+16	-31	53	22
現金及び現金同等物の残高	280	308		276	313		-4	+5		276	330	

# 2014貸借対照表

(億円)

	2014/3	2015/3	増減
流動資産	1,254	1,335	+81
現金預金	308	313	+5
売上債権	540	581	+41
たな卸資産	332	361	+29
その他	74	80	+6
固定資産	826	904	+78
有形固定資産	450	471	+21
無形固定資産	13	7	-6
投資有価証券	336	387	+51
その他	27	39	+12
資産合計	2,080	2,239	+159

	2014/3	2015/3	増減
負債	702	726	+24
買入債務	161	151	-10
借入金	361	351	-10
その他	180	224	+44
純資産	1,378	1,513	+135
株主資本	1,300	1,376	+76
その他有価証券 評価差額金	61	107	+46
為替換算 調整勘定	0	9	+9
少数株主持分	13	15	+2
退職給付に係る 調整累計額	4	6	+2
負債・純資産合計	2,080	2,239	+159

自己資本比率 65.7% 66.9%

D/Eレシオ (1) 4.1% 2.7%

株主資本増減 76 = 純利益182 - 配当その他106

(1) D/Eレシオ = (借入金 - 現金預金) / 株主資本

# 2015予想

	2014実績			2015予想			増減			増減率	(億円)
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	
売上高	799	913	1,712	850	960	過去最高 1,810	+51	+47	+98	+6%	
営業利益	125	128	253	129	136	過去最高 265	+4	+8	+12	+5%	
営業外損益	2	9	11	7	4	11	+5	-5	+0	+5%	
経常利益	127	137	264	136	140	過去最高 276	+9	+3	+12	+5%	
特別損益 (1)	-4	-7	-11	-	-	-	+4	+7	+11	-	
純利益 (2)	89	93	182	101	105	過去最高 206	+12	+12	+24	+13%	
EBITDA (3)	162	176	338	176	193	369	+14	+17	+31	+9%	
EPS (円/株) (4)	55.15	58.84	113.99	64.55	67.11	131.66	+9.40	+8.27	+17.67	+16%	
配当 (円/株)	14	22	36	18	22	40	+4	0	+4		
配当総額 (4)	22	35	57	28	34	62	+6	-1	+5		
売上高営業利益率	15.6%	14.1%	14.8%	15.2%	14.2%	14.6%	-0.4%	+0.1%	-0.2%		
ROE (4)	-	-	12.7%	-	-	13.4%	-	-	+0.7%		
為替レート (円/ドル)	103	117		120	120						
ナフサ (円/kl)	70,400	56,700		54,800	54,800						
包括利益	102	139	241								

(1) 2014実績: 製品補償費用 -4億円(農業化学品パルサー固結補償関連)、ナフサパイプライン撤去費用 -7億円

(2) 以後、2015予想の純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指す

(3) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(4) 2015予想は、自己株取得(2015年5月発表)60億円の影響を含む



# 2015予想

<前年比>	(売上高)	◆増収 +98億円 (+5.7%)	(増収) 化学、機能性材料、農業化学、卸売 (減収) 医薬
	(営業利益)	◆増益 +12億円 (+4.5%)	(増益) 化学、農業化学、卸売 (減益) 機能性材料、医薬
	(営業外損益)	◆増益 +0億円	
	(経常利益)	◆増益 +12億円 (+4.6%)	
	(純利益)	◆増益 +24億円 (+13.2%)	
	(EPS)	◆増加 +17.67円 (+15.5%)	
	(ROE)	◆13.4%(2014年12.7%)	2015年中計ROE目標値: 13.4%

売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は過去最高かつ、2015年中計目標(p49)達成を見込む

<配当> ◆中間18円、期末22円、計40円 (前年比:4円増配)

※参考:2014年度 中間14円、期末22円、計36円

# 2015予想 営業外損益・特別損益・包括利益

(億円)

	2014実績	2015予想	増減
<b>営業外収益</b>	29.0	21.9	-7.1
受取利息・配当金	6.3	5.3	-1.0
持分法投資損益	10.9	8.9	-2.0
為替差益	4.8	0.0	-4.8
その他	7.0	7.7	+0.7
<b>営業外費用</b>	18.6	10.9	-7.7
支払利息	2.1	2.5	+0.4
固定資産処分損	3.3	4.5	+1.2
休止損	4.2	3.6	-0.6
その他	9.0	0.3	-8.7
<b>特別利益</b>	0.0	0.0	0.0
<b>特別損失</b>	11.0	0.0	-11.0
<b>包括利益</b>	240.9	-	-
純利益	182.0	-	-
少数株主損益	1.8	-	-
その他有価証券評価差額金	45.4	-	-
為替換算調整勘定	9.5	-	-
退職給付に係る調整額	2.2	-	-

# 2015キャッシュフロー予想

	2014実績	2015予想	(億円)
営業キャッシュ・フロー	204	289	
税金等調整前当期純利益	253	276	
事業構造改善引当金の増減額	7	0	
減価償却費	85	104	
法人税等の支払	-70	-75	
運転資金増減他	-71	-16	
投資キャッシュ・フロー	-81	-152	
設備投資	-86	-127	
その他	5	-25	
財務キャッシュ・フロー	-121	-133	
配当	-48	-63	
借入金増減額	-12	-10	
自己株取得	-60	-60	
その他	-1	0	
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0	
現金及び現金同等物の増減額	5	4	
現金及び現金同等物の残高	313	317	

# セグメント変更・・・2013年10月の組織変更に伴い、下記の通り変更

## 旧セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品（ハイライト、シアヌール酸等） ファインテック
	基礎化学品	メラミン 尿素、アドフルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエパー ARC®(KrF、ArF、多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	



## 新セグメント

セグメント	主要製品	
化学品	ファインケミカル	テピック メラミンシアヌレート 環境化学品（ハイライト、シアヌール酸等）
	基礎化学品	メラミン 尿素、アドフルー アンモニア、硫酸、硝酸 高純度薬品
機能性材料	サンエパー ARC®(KrF、ArF、多層材料) NHC(タッチパネル用絶縁膜) マイクロレンズ 無機コロイド材料(スノーテックス、オルガノゾル等)	
農業化学品	農薬	除草剤 殺虫剤 殺菌剤
	動物用医薬品原薬	
医薬品	リハロ ファインテック	
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	
調整額	新事業企画部を含む	

# 2014 セグメント別売上高<sup>(1) (2)</sup>

(億円)

	2013			2014			増減			増減率	2014予想 (2014/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
化学	179	176	355	167	176	343	-12	-0	-12	-3%	167	179	346
ファイン	53	46	99	53	53	106	-0	+7	+7	+6%	53	49	102
基礎	126	130	256	114	123	237	-12	-7	-19	-7%	114	130	244
機能性	206	222	428	242	252	494	+36	+30	+66	+15%	242	241	483
農業化学	160	231	391	185	272	457	+25	+41	+66	+17%	185	268	453
医薬	64	52	116	50	38	88	-14	-14	-28	-24%	50	38	88
卸売	245	262	507	273	271	544	+28	+9	+37	+7%	273	283	556
その他	97	117	214	85	124	209	-12	+7	-5	-3%	85	130	215
調整額	-187	-187	-374	-203	-220	-423	-16	-33	-49	-	-203	-228	-431
合計	764	873	1,637	799	913	1,712	+35	+40	+75	+5%	799	911	1,710

(1)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(2)2013年度は旧セグメントを新セグメントに組み替え

# 2014 セグメント別営業利益<sup>(1)</sup>

(億円)

	2013			2014			増減			増減率	2014予想 (2014/11発表)		
	上	下	計	上	下	計	上	下	計	計	上実績	下	計
化学	8	11	19	4	15	19	-4	+4	-0	-0%	4	12	16
機能性	44	44	88	67	53	120	+23	+9	+32	+36%	67	46	113
農業化学	24	38	62	40	52	92	+16	+14	+30	+48%	40	51	91
医薬	31	18	49	16	7	23	-15	-11	-26	-53%	16	3	19
卸売	7	8	15	9	8	17	+2	-0	+2	+12%	9	9	18
その他	2	6	8	-1	7	6	-3	+1	-2	-23%	-1	6	5
調整額	-10	-9	-19	-10	-14	-24	-0	-5	-5	-	-10	-11	-21
<b>合計</b>	<b>106</b>	<b>116</b>	<b>222</b>	<b>125</b>	<b>128</b>	<b>253</b>	<b>+19</b>	<b>+12</b>	<b>+31</b>	<b>+14%</b>	<b>125</b>	<b>116</b>	<b>241</b>

(1)2013年度は旧セグメントを新セグメントに組み替え

# 2015予想 セグメント別売上高<sup>(1)</sup>

(億円)

	2014実績			2015予想			増減			増減率			
	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	計			
化学	167	85	176	343	176	89	182	358	+9	+4	+6	+15	+4%
ファイン	53	27	53	106	56	30	54	110	+3	+3	+1	+4	+4%
基礎	114	58	123	237	120	59	128	248	+6	+1	+5	+11	+5%
機能性	242	118	252	494	249	123	268	517	+7	+5	+16	+23	+5%
農業化学	185	123	272	457	209	131	276	485	+24	+8	+4	+28	+6%
医薬	50	25	38	88	45	18	40	85	-5	-7	+2	-3	-4%
卸売	273	141	271	544	289	147	312	601	+16	+6	+41	+57	+10%
その他	85	38	124	209	94	49	118	212	+9	+11	-6	+3	+2%
調整額	-203	-105	-220	-423	-212	-114	-236	-448	-9	-9	-16	-25	-
<b>合計</b>	<b>799</b>	<b>425</b>	<b>913</b>	<b>1,712</b>	<b>850</b>	<b>443</b>	<b>960</b>	<b>1,810</b>	<b>+51</b>	<b>+18</b>	<b>+47</b>	<b>+98</b>	<b>+6%</b>

(1)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2015予想 セグメント別営業利益

(億円)

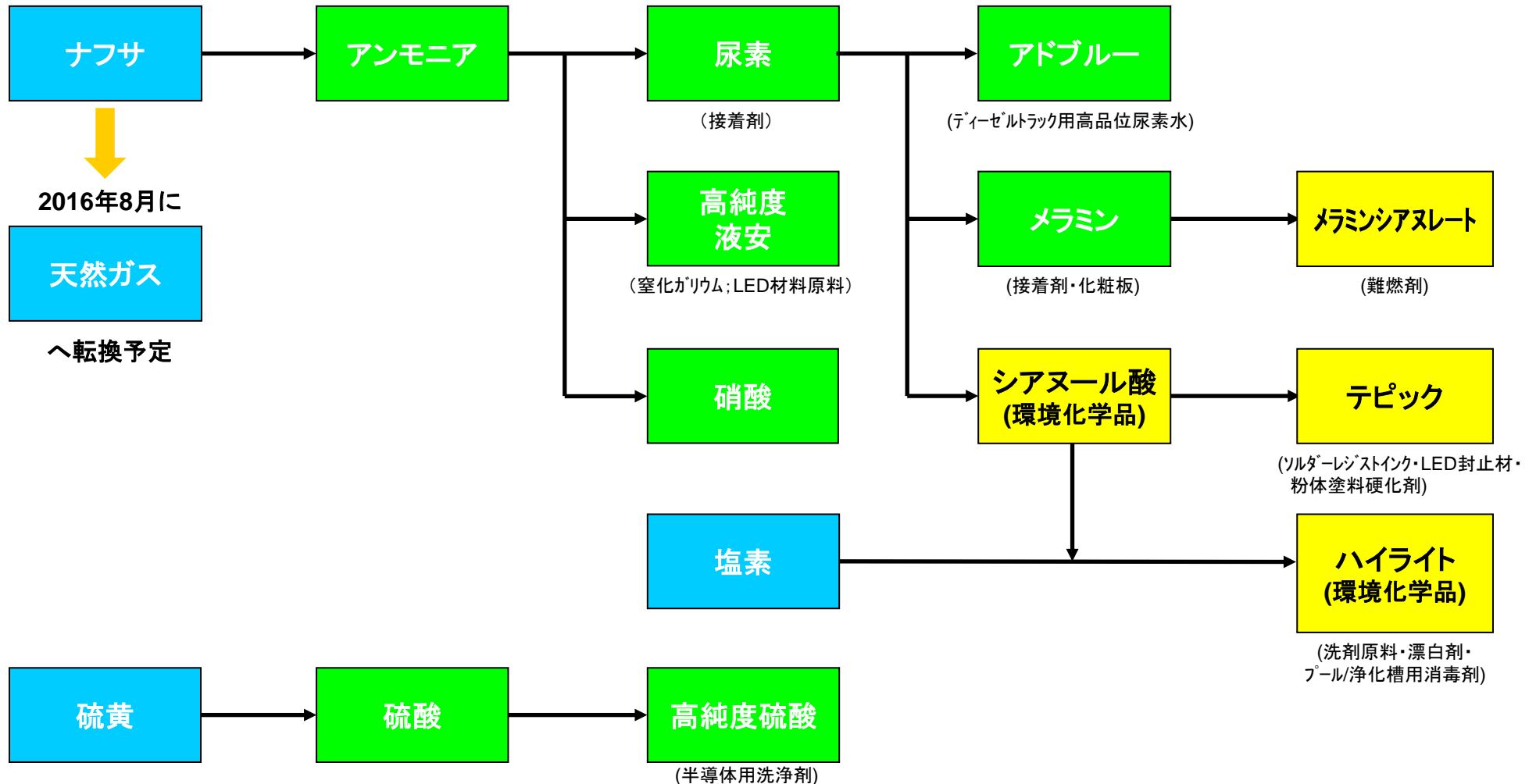
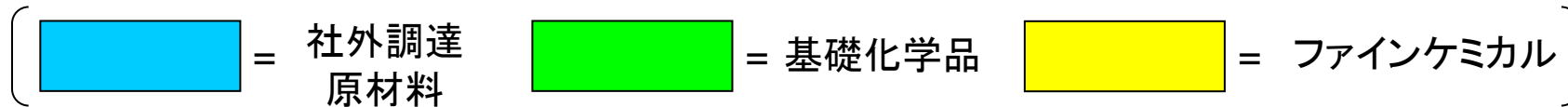
	2014実績			2015予想			増減			増減率
	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	計
化学	4 10	15	19	14 13	22	36	+10 +3	+7	+17	+90%
機能性	67 33	53	120	53 26	55	108	-14 -7	+2	-12	-10%
農業化学	40 40	52	92	51 38	45	96	+11 -2	-7	+4	+4%
医薬	16 8	7	23	12 2	9	21	-4 -6	+2	-2	-9%
卸売	9 5	8	17	9 4	10	19	-0 -1	+2	+2	+13%
その他	-1 -1	7	6	-1 -1	6	5	+0 +0	-1	-1	-14%
調整額	-10 -6	-14	-24	-9 -7	-11	-20	+1 -1	+3	+4	-
<b>合計</b>	<b>125 89</b>	<b>128</b>	<b>253</b>	<b>129 75</b>	<b>136</b>	<b>265</b>	<b>+4 -14</b>	<b>+8</b>	<b>+12</b>	<b>+5%</b>



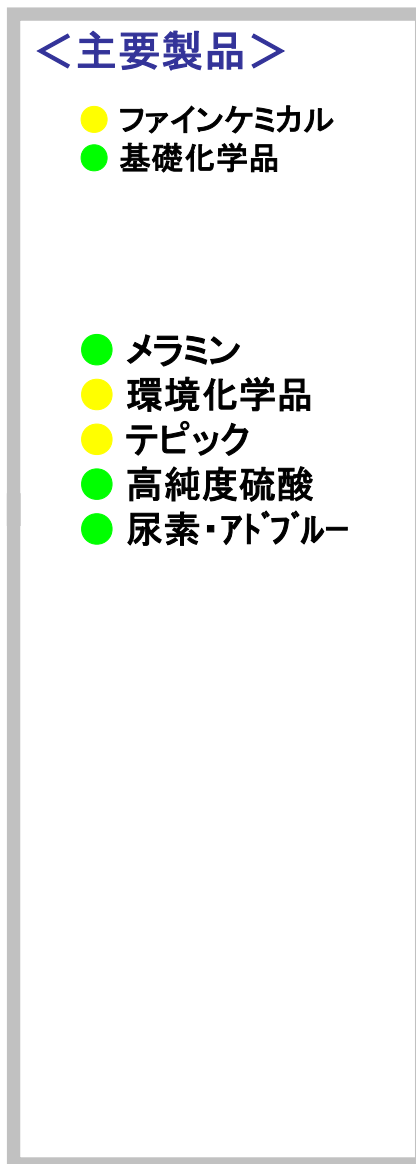
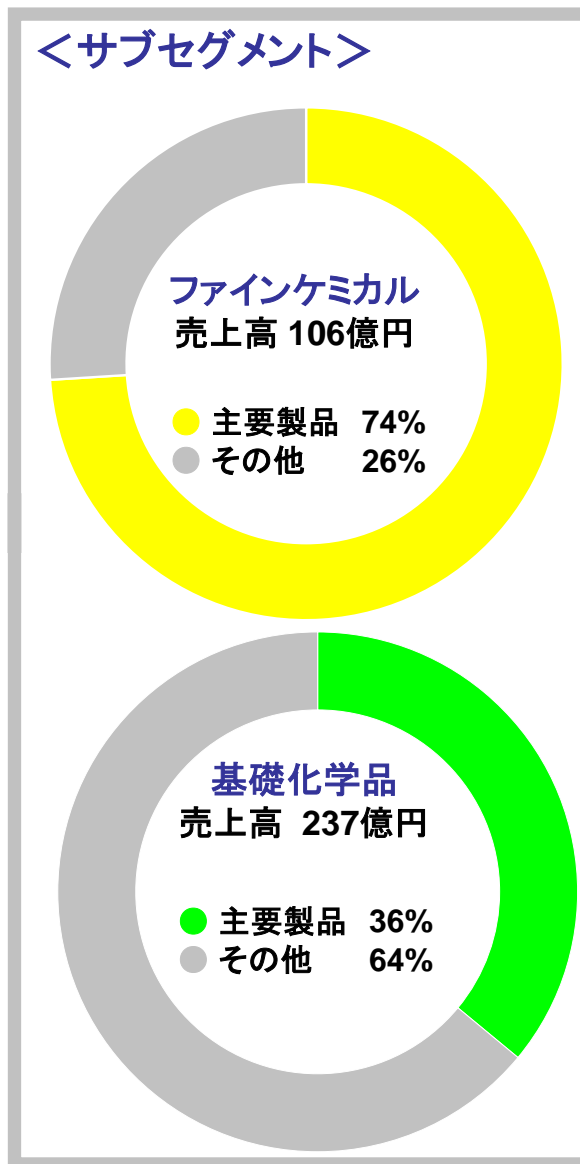
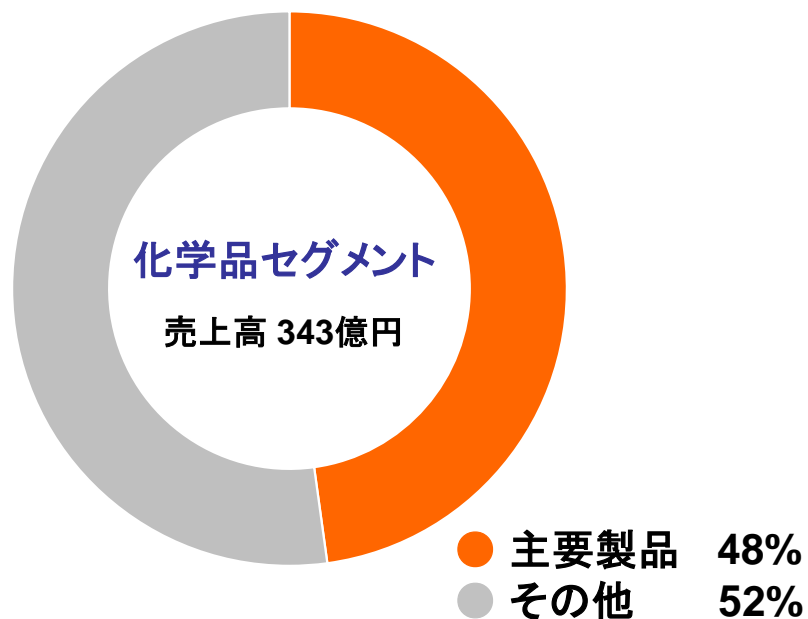
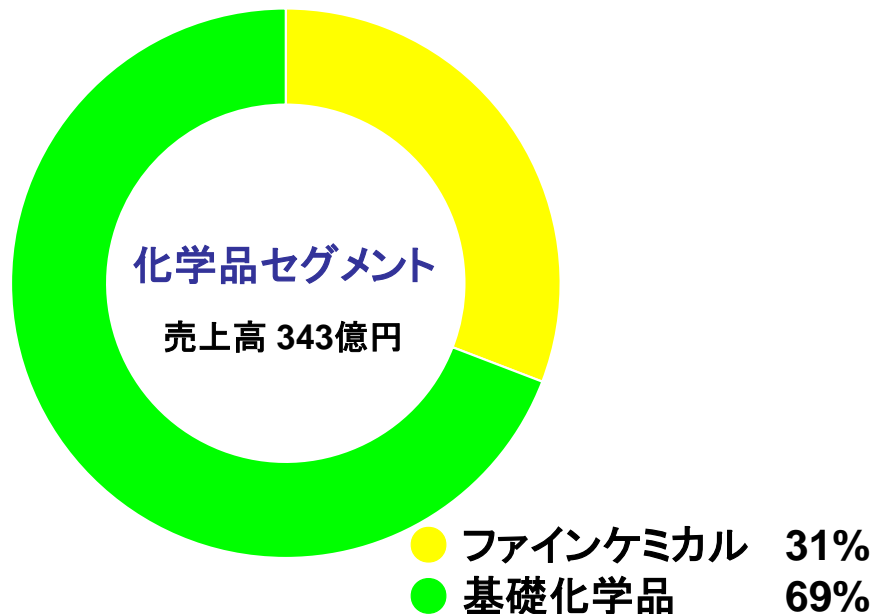
# 化学品セグメント概況－(A) 主要製品製造フロー

◆基礎化学品主要製品：アンモニア系製品と硫酸系製品

◆2014年度アンモニア国内生産能力シェア11%、高い自消率による付加価値向上

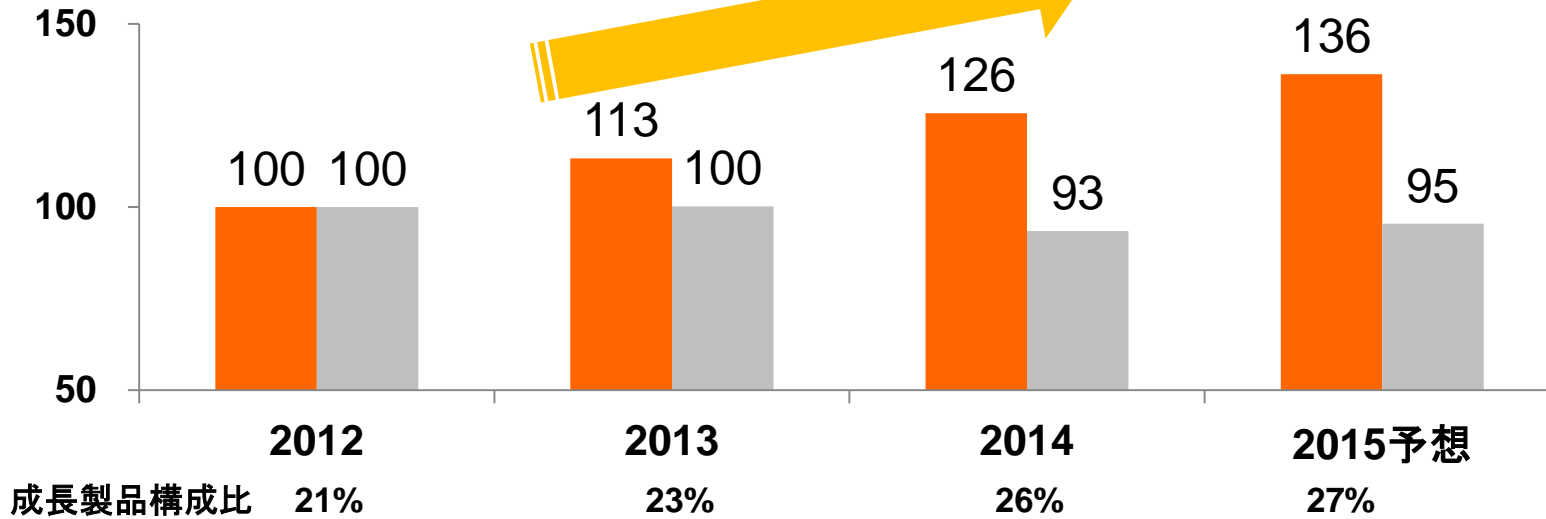


# 化学品セグメント概況－(B) 2014年度年間売上構成



# 化学品セグメント概況- (C) 成長製品

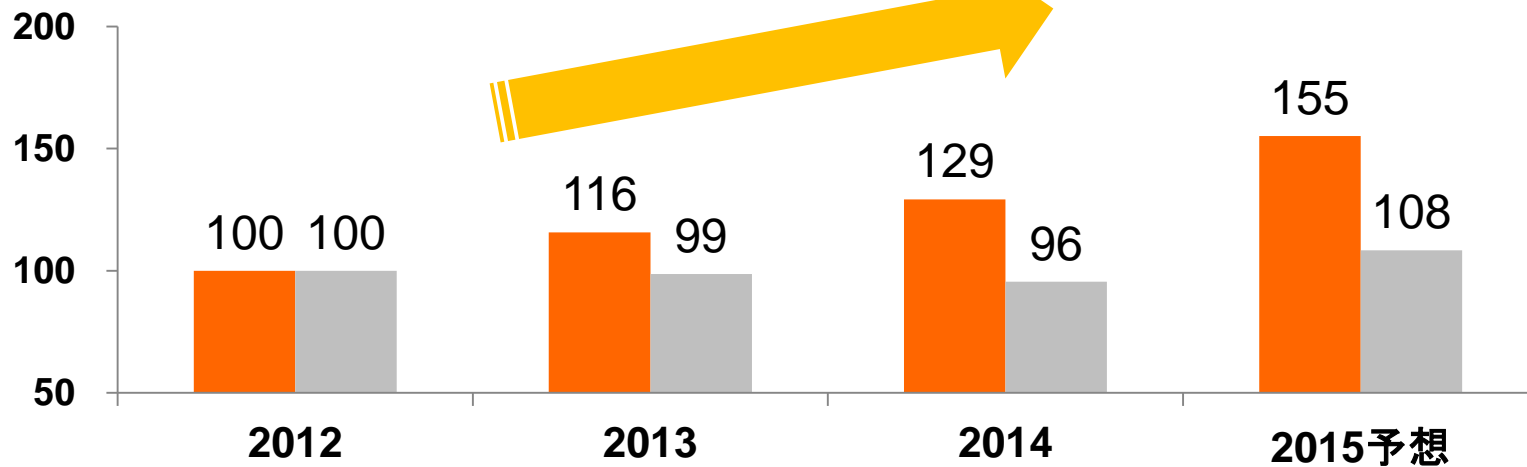
## ◆売上高 (2012年度=100)



■ **成長製品**  
 テピック  
 ファインオキシ  
 アドブルー  
 高純度液安  
 メラミンシアヌレート  
 など

■ **成熟製品**  
 メラミン  
 アンモニア  
 尿素  
 硝酸  
 など

## ◆限界利益<sup>(1)</sup> (2012年度=100)



(1)限界利益: 売上高-変動原価

# 化学品セグメント概況－(D-1) 構造改善の現況

## ◆設備能力の推移 (2012年度能力=100)

		2012	2013	2014	2015予想	
成長 製品	テピック	100	→		120	} 増強
	アドブルー [製造拠点数(1)]	100 [2]	→		150 [4]	
			→		160 [5]	
	高純度液安	100	→		250	} 削減
成熟 製品	アンモニア	100	→		80	
	硝酸	100	→		80	

(1) 製造委託先を含む

## ◆実施済み富山工場アンモニア系コスト削減

工事費： 5.0億円

メリット： 2～3億円/年

工事内容： ユーティリティ効率化、少人化

## ◆アンモニア原料転換プロジェクト

次ページ(D-2)参照

# 化学品セグメント概況－(D-2)アンモニア原料転換プロジェクト

## ◆プロジェクト:

富山工場で生産しているアンモニアの原料をナフサから天然ガスに転換

## ◆目的:

ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニアをはじめ、尿素、メラミン、硝酸など各種誘導品の収益安定化を図る

## ◆工事金額:

10.9億円

## ◆工事完了時期:

2016年8月

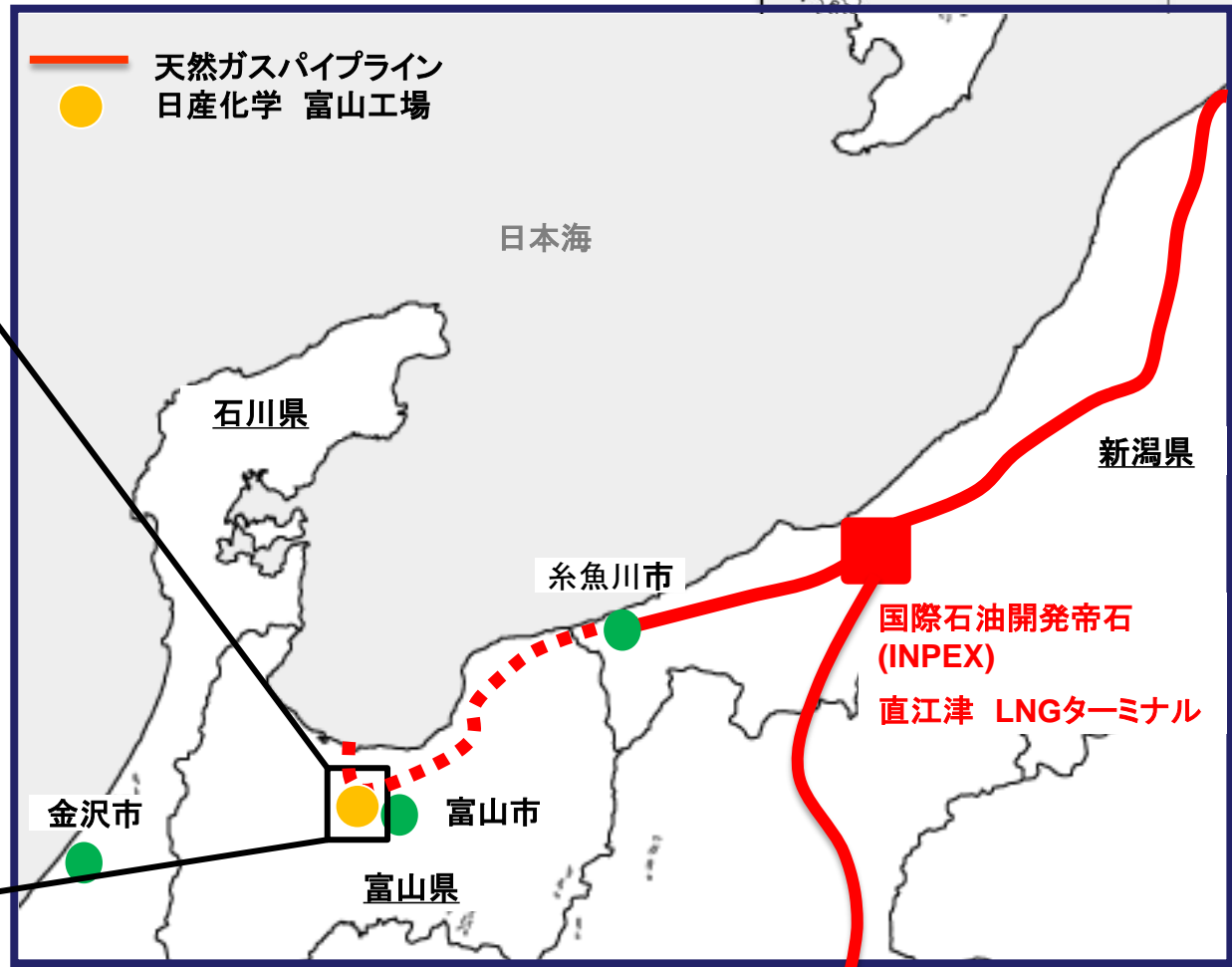
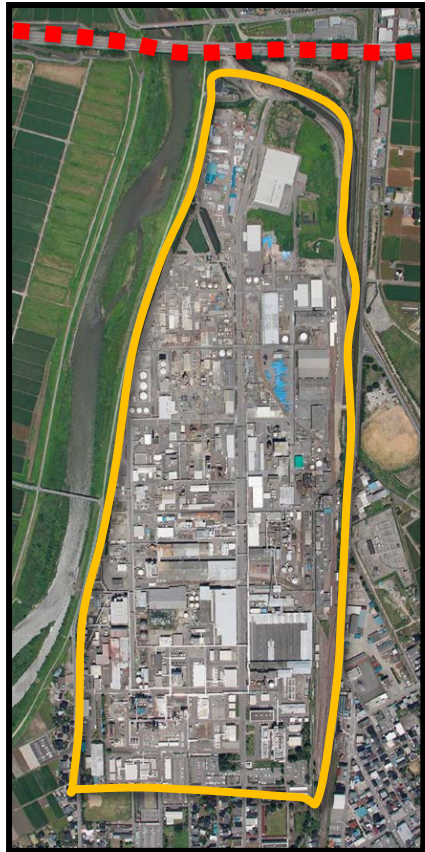
## ◆特別損失の計上:

現在使用しているナフサのパイプラインは、工事完了後不要となるため撤去することとし、2015年3月期第3四半期において、その概算費用704百万円を特別損失に計上済み

# 化学品セグメント概況-

## (D-3)アンモニア原料転換プロジェクト

— 天然ガスパイプライン  
— 日産化学 富山工場



# 化学品セグメント概況－(E) ファインケミカル

## 2014売上高実績

<上期前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

円安で一般向け輸出増収、電材向けも増収  
内外ともに低調、国内は消費増税反動影響あり

<下期前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

円安で一般向け輸出増収、電材向けも増収  
減収(国内は消費増税反動影響で減収、輸出は増収)

<下期2014/11業績予想比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け上ぶれ、電材向け上ぶれ  
下ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)

## 2015売上高予想

<年間前年比>

- ◆ テピック
- ◆ 環境化学品

一般向け減収(出荷調整)、電材向け横ばい  
内外ともに増収の見込み

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2014予想 (2014/11発表)			2014実績			2015予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
全般		-1%	+8%	+3%	-1%	+15%	+6%	+7%	+2%	+4%
テピック	◆(用途) 電材向け(ソルダレレジストインキ、LED周辺材料) 一般向け(粉体塗料硬化剤) ◆世界最大メーカー	+8%	+4%	+6%	+8%	+25%	+17%	+4%	-9%	-3%
環境 化学品	◆(ハイライト用途) 塩素化イソシアヌル酸を主原料とし、プール、浄化槽等の 殺菌、消毒に使用	-15%	-0%	-9%	-15%	-3%	-10%	+11%	+9%	+10%

上記2製品グループの2014年度実績連結ファインケミカル売上高に占める割合:74%

# 化学品セグメント概況－(F) 基礎化学品

## 2014売上高実績

<上期前年比>

◆メラミン 国内減収(住宅着工戸数減少傾向)、輸出減収(アジア市況悪化)

◆尿素・アドブルー 尿素減収、アドブルー増収

◆高純度硫酸 半導体向け低調

<下期前年比>

◆メラミン 横ばい(国内減収、輸出増収)

◆尿素・アドブルー 横ばい

◆高純度硫酸 半導体向け低調

<下期2014/11業績予想比>

◆メラミン 下ぶれ(国内下ぶれ、輸出上ぶれ)

◆尿素・アドブルー 下ぶれ

◆高純度硫酸 半導体向け低調

## 2015売上高予想

<年間前年比>

◆メラミン 国内売上高横ばい(価格修正、数量増)、輸出増収

◆尿素・アドブルー アドブルー拡販(全国供給網確立、建機・農機・中小型トラック向け本格化)

◆高純度硫酸 国内半導体メーカー増設で微増

主要製品		前年同期比 連結売上高成長率								
		2014予想 (2014/11発表)			2014実績			2015予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
全般		-9%	-1%	-5%	-9%	-6%	-7%	+5%	+5%	+5%
メラミン	◆(用途)接着剤、化粧板	-13%	+3%	-5%	-13%	-0%	-6%	+12%	+5%	+8%
尿素 アドブルー	◆(用途)接着剤、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水	-3%	+8%	+3%	-3%	+0%	-1%	+14%	+13%	+13%
高純度 硫酸	◆(用途)半導体用洗浄剤 ◆国内最大メーカー	-12%	+3%	-5%	-12%	-11%	-12%	-4%	+8%	+2%

上記3製品グループの2014年度実績連結基礎化学品売上高に占める割合:36%



# 化学品セグメント概況 - (G) セグメント収益動向

(億円)

	2013実績			2014 下予想 (14/11発表)	2014実績(A)				2015予想(B)				増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)				
	上	下	計	下	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計
売上高 (1)	179	176	355	179	167	85	176	343	176	89	182	358	+9	+4	+6	+15	+5%	+5%	+4%	+4%
<sub>    </sub> ファイン	53	46	99	49	53	27	53	106	56	30	54	110	+3	+3	+1	+4	+7%	+11%	+2%	+4%
<sub>    </sub> 基礎	126	130	256	130	114	58	123	237	120	59	128	248	+6	+1	+5	+11	+5%	+2%	+5%	+5%
営業利益 (1)	8	11	19	12	4	10	15	19	14	13	22	36	+10	+3	+7	+17	+236%	+30%	+49%	+90%

(1) 旧セグメントを新セグメントに組み替え

## 2014下実績

<前年比>

- (ファインケミカル) ◆ ティック増収、環境減収  
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎化学品) ◆ マミン・尿素・アドブルー横ばい、高純度硫酸減収、高純度液安増収  
◆ 不採算取引縮小、ナフサ安  
◆ 売上高減少、営業利益増加
- (セグメント) ◆ 売上高横ばい、営業利益+4億円(+32%)

## 2014下実績

<2014/11業績予想比>

- (ファインケミカル) ◆ ティック売上高上ぶれ、環境売上高下ぶれ  
◆ 売上高上ぶれ、営業利益上ぶれ
- (基礎化学品) ◆ マミン・尿素・アドブルー・高純度硫酸下ぶれ  
◆ ナフサ価格下ぶれ  
◆ 売上高下ぶれ、営業利益上ぶれ
- (セグメント) ◆ 売上高-3億円、営業利益+3億円

## 2014実績

<前年比>

- (ファインケミカル) ◆ ティック増収、環境減収  
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎化学品) ◆ マミン・尿素・アドブルー・高純度硫酸減収、高純度液安増収  
◆ 不採算取引縮小、ナフサ安  
◆ 売上高減少、営業利益減少
- (セグメント) ◆ 売上高-12億円(-3%)、営業利益横ばい

## 2015予想

<前年比>

- (ファインケミカル) ◆ ティック減収、環境増収  
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (基礎化学品) ◆ マミン・尿素・アドブルー・高純度液安増収、高純度硫酸微増  
◆ ナフサ安  
◆ 売上高増加、営業利益増加
- (セグメント) ◆ 売上高+15億円(+4%)、営業利益+17億円(+90%)

(白紙)

# 機能性材料セグメント概況 – (A) ディ스플레이材料

## 2014売上高実績

<上期前年比>

ディスプレイ材料合計増収+19%

IPS/FFS増収、VA横ばい、TN減収  
光IPS販売本格化

<下期前年比>

ディスプレイ材料合計増収+25%

IPS/FFS増収、VA増収、TN減収  
サンエバー全モード上ぶれ

<下期2014/11業績予想比>

ディスプレイ材料合計上ぶれ

## 2015売上高予想

<年間前年比>

ディスプレイ材料合計増収+8%

IPS/FFS増収、VA減収、TN減収  
光IPS数量増加、販売先数増加  
有機EL材料(塗布型)量産化

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2014予想 (2014/11 発表)			2014実績			2015予想		
	上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
サンエバー	+22%	+16%	+19%	+22%	+26%	+24%	+7%	+4%	+5%
その他ディスプレイ材料 計(1)	-58%	-31%	-48%	-58%	-43%	-52%	+19%	+475%	+238%
ディスプレイ材料合計	+19%	+15%	+17%	+19%	+25%	+22%	+7%	+8%	+8%

(1) NHC(タッチパネル用絶縁膜)、3D TV材料、エルソース(有機EL用塗布型ホール注入材)等

- ◆ 2012年度NCK(韓国) 設備計画 稼働開始2014年10月
  - <ディスプレイ材料> サンエバー生産能力増強、倉庫増設、R&D設備増強
  - <半導体材料> ARC® 生産能力増強、倉庫増強

# 機能性材料セグメント概況 – (B) 半導体材料

## 2014売上高実績

<上期前年比>

<下期前年比>

<下期2014/11業績予想比>

半導体材料合計増収+23%

半導体材料合計増収+12%

半導体材料合計上ぶれ

KrF・ArF・その他半導体材料増収

KrF・ArF・その他半導体材料増収

KrF・ArF上ぶれ、その他半導体材料下ぶれ

## 2015売上高予想

<年間前年比>

半導体材料合計増収+4%

KrF横ばい、ArF増収、その他半導体材料減収

主要製品	前年同期比 連結売上高成長率								
	2014予想 (2014/11 発表)			2014実績			2015予想		
	上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
KrF (ARC®)	+15%	+8%	+11%	+15%	+19%	+17%	-4%	+3%	-0%
ArF (ARC®)	+19%	+5%	+12%	+19%	+8%	+13%	+7%	+14%	+11%
小計	+17%	+6%	+11%	+17%	+12%	+14%	+2%	+9%	+6%
その他半導体材料 計(1)	+42%	+20%	+30%	+42%	+10%	+25%	-10%	+7%	-2%
半導体材料合計	+23%	+10%	+16%	+23%	+12%	+17%	-1%	+8%	+4%

(1) 多層材料(ARC®)、マイクロレンズ等

### ◆ Thin Materials(TMAT)社株式100%取得

<取得完了日> 2013年6月28日

<本社所在地> ドイツ・ミュンヘン市 (Fraunhofer研究所内)

<取得目的> TMAT社が保有する半導体3次元実装(仮貼り合わせ材料)の高度なプロセス・材料開発技術の取り込み

### ◆ 次世代ロードマップ進行に沿った評価機器購入計画 総額25億円程度(2015年度20億円実施)

# 機能性材料セグメント概況 - (C-1) 無機コロイド材料

## 高機能コロイド製品群

### スノーテックス

コロイダルシリカ  
(水分散シリカゾル)

オルガノゾル  
有機溶媒分散シリカゾル

アルミナゾル

サンコロイド

高屈折率及び新規製法  
による金属酸化物ゾル

セルナックス

導電性材料・熱線吸収

## < スノーテックスの特徴 >

透明性 親水性 耐熱性  
導電性 高硬度 結合性  
増摩性 結合性 増粘性  
屈折率調整

## < 主な用途 >

磨く

塗布

固める

## < 使用例 >

磨く

シリコンウェハ、  
アルミ/ガラス  
ハードディスク

塗る

鋼板、  
レンズ、  
プラスチック  
フィルム

固める

脱硝触媒、  
各種バインダー

# 機能性材料セグメント概況 – (C-2) スノーテックス・オルガノゾル

## 2014売上高実績

<上期前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材増収、一般用途減収  
減収

<下期前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材増収、一般用途横ばい  
増収

<下期2014/11業績予想比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材上ぶれ、一般用途下ぶれ  
上ぶれ

## 2015売上高予想

<年間前年比>

- ◆スノーテックス
- ◆オルガノゾル

研磨材減収、一般用途増収  
減収

主要製品		前年同期比 単体売上高成長率								
		2014予想 (2014/11 発表)			2014実績			2015予想		
		上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
スノーテックス	◆(用途) 研磨材(シリコンウェハ・アルミ・ガラスハードディスク)、 脱硝触媒、特殊鋼板等	+3%	+7%	+5%	+3%	+7%	+5%	-3%	+3%	-0%
オルガノゾル	◆(用途) 電子機器用フィルム表面処理	-10%	+2%	-4%	-10%	+7%	-2%	+3%	-15%	-6%

# 機能性材料セグメント概況 – (D) セグメント収益動向

(億円)

	2013実績			2014 下予想 (14/11発表)	2014実績(A)			2015予想(B)			増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)						
	上	下	計	下	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計				
売上高	206	222	428	241	242	118	252	494	249	123	268	517	+7	+5	+16	+23	+3%	+4%	+7%	+5%
営業利益	44	44	88	46	67	33	53	120	53	26	55	108	-14	-7	+2	-12	-21%	-21%	+3%	-10%

## 2014下実績 <前年比>

- ◆ サンエバー増収 (VA・IPS/FFS増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収 (KrF・ArF増収、多層等その他増収)
- ◆ 無機減収 (スノーテックス・オルガノゾル増収、  
米国子会社 前年決算期変更による減収)
- ◆ 売上高+30億円(+13%)、営業利益+9億円(+20%)

## 2014下実績 <2014/11業績予想比>

- ◆ サンエバー上ぶれ (全モード上ぶれ)
- ◆ 半導体材料上ぶれ (KrF・ArF上ぶれ、多層等その他下ぶれ)
- ◆ 無機予想通り (スノーテックス予想通り、オルガノゾル上ぶれ)
- ◆ 売上高+11億円、営業利益+7億円

## 2014実績 <前年比>

- ◆ サンエバー増収 (IPS/FFS増収、VA増収、TN減収)
- ◆ 半導体材料増収 (KrF・ArF増収、多層等その他増収)
- ◆ 無機増収 (スノーテックス増収、オルガノゾル減収)
- ◆ 固定費増加+4億円 (単体)  
(材料科学研究所新棟完成p47参照、DP・半導体評価機器)
- ◆ 売上高+66億円(+15%)、営業利益+32億円(+36%)

## 2015予想 <前年比>

- ◆ サンエバー増収 (IPS/FFS増収、TN・VA減収)
- ◆ 半導体材料増収 (KrF横ばい、ArF増収、多層等その他減収)
- ◆ 無機横ばい (スノーテックス横ばい、オルガノゾル減収、その他増収)
- ◆ TMATのれん償却開始
- ◆ 固定費増加+28億円 (単体)  
(2014年 材料研新棟、DP・半導体評価機器、  
2015年 半導体評価機器、TMATのれん)
- ◆ 売上高+23億円(+5%)、営業利益-12億円(-10%)

(白紙)



# 農業化学用品セグメント概況- (A) 売上高増減(単体 値引前)

主要製品名 (2014年 売上高順)	種類	前年同期比 売上高増減		
		2013実績	2014実績	2015予想
ラウンドアップ	除草	↘	↗↗↗↗	↗
アルテア (NC-620)	除草	↗↗↗↗	↗↗↗↗	↗↗↗↗
パーミット	除草	↗↗	↗↗	↗↗↗
タルガ	除草	↗↗↗↗	↗↗↗↗	↘↘
シリウス	除草	↗	↘↘↘↘	↗↗↗↗
パルサー (チフルザミド)	殺菌	↘↘↘	↗↗↗↗	↗↗↗↗
スターマイト	殺虫	↗↗	↗	↗
ライメイ	殺菌	↗↗↗↗	↗↗	↗↗↗↗
サンマイト	殺虫	↘↘↘	↘	↘

前年同期比売上高増減

+15%~	↗↗↗↗
+10~+15%	↗↗↗
+5~+10%	↗↗
+0~+5%	↗
-0~-5%	↘
-5~-10%	↘↘
-10~-15%	↘↘↘
-15%~	↘↘↘↘

# 農業化学品セグメント概況- (B)

- ◆ 安定的収益源から、アルテア、ラウンドアップ、フルララネルを軸に高成長事業に進化
- ◆ 自社新剤、買収剤、導入剤で戦力増強

(上市時期)	(製品)
2002年度	ラウンドアップ(国内事業をモンサントより買収)
2008年度	ライメイ(殺菌剤、自社)、スターマイト(殺虫剤、自社)
2009年度	パルサー(チフルザミド)(殺菌剤、ダウより買収)、プレバソン(殺虫剤、導入)
2010年度	AVH(除草剤、導入) ラウンドアップAL(家庭向け希釈済みシャワータイプ)上市、好調に推移
2011年度	アルテア(NC-620)(除草剤、自社)を韓国上市
2012年度	アルテア(NC-620)を日本上市
2013年度	MSD社*向けに動物用医薬品原薬フルララネルを出荷開始
2014年度	MSD社が動物用医薬品ブラベクトを欧州(4月)、米国(5月)で上市 果樹野菜茶用殺虫剤(導入)上市
2015-16年度	果樹野菜水稲用殺虫剤(導入)、果樹野菜用殺菌剤(導入)上市予定
2019年度～	殺虫剤(自社)上市予定

\*MSD社=メルク社(米国)のアニマルヘルス事業部門、MSD Animal Health社

## ◆ 生物科学研究所整備投資(医薬品と共通)

期間、投資額 : 2010-17年5期、2015-17年第5期(最終) 13億円(5期合計64億円)

完成済み主要施設: 本館、完全自動化化合物ライブラリ、人工気象室、温室、(5期)温室、栽培管理棟

- ◆ 2011年9月イハラプラス社(ブラジル)に3%資本参加
- ◆ 2014年4月中国現地法人営業開始(販売支援、普及サービス、製品開発支援)
- ◆ 2014年度単体実績 輸出比率: 28%(アジア31%、欧州・アフリカ47%、北・中南米22%) ※フルララネルを含める

# 農業化学品セグメント概況ー (C) フルララネル

## ◆フルララネル(Fluralaner)

ブラベクトの有効成分であるフルララネルは、これまでのペット用外部寄生虫薬とは異なる新たな作用機序を有しており、動物用医薬品原薬として、当社がMSD社に供給する

## ◆ブラベクト(BRAVECTO)

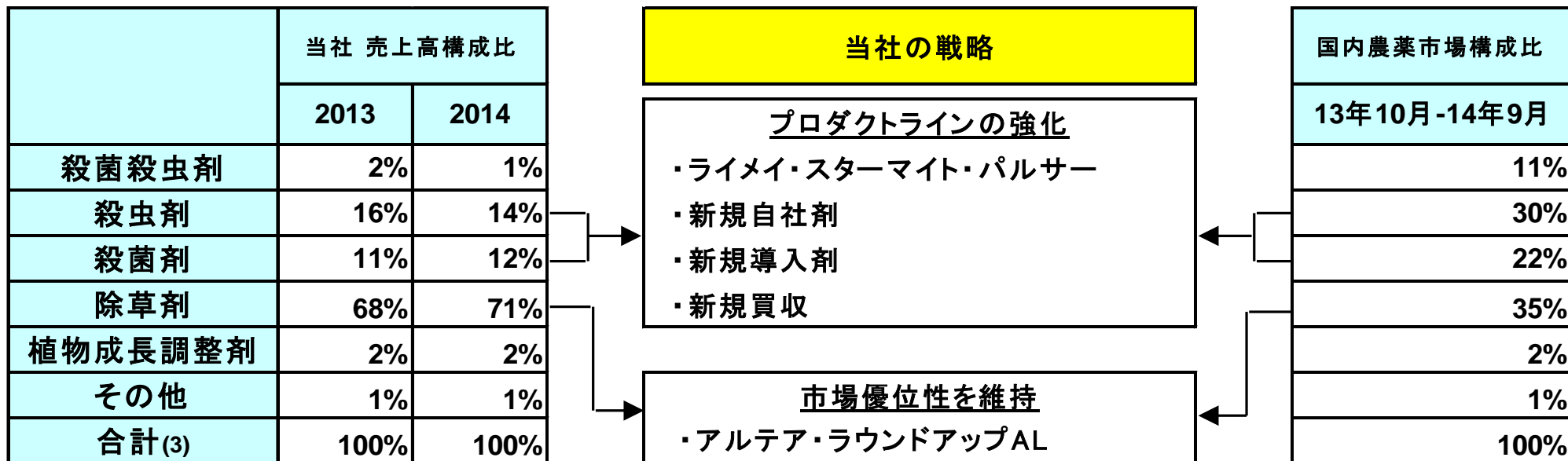
- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬のノミ、マダニの主要種に対し即効性に優れ、さらに、通常1か月毎に投薬する既存製品より殺虫効果の持続性が長く、12週間(クリイロコイタマダニは8週間)にわたって持続するという優れた特長を有する
- チュアブルタブレット(経口投与製剤)が、EU(欧州連合)において販売承認され、MSD社が2014年4月より、イタリア・オランダ・スペイン・ドイツ・フランス・英国で販売開始、2014年5月より米国で販売開始、現在、30か国以上で販売中
- MSD社は、日本を含むその他の国においても登録取得に取り組み中

# 農業化学品セグメント概況- (D) 売上高(単体 値引前)

	前年同期比 売上高成長率						
	2014予想 (2014/11 発表)			2014実績			2015 予想
	上実績	下	計	上	下	計	
ラウンドアップ (うちラウンドアップAL(1))	+30% (+61%)	+13% (+13%)	+20% (+49%)	+30% (+61%)	+9% (+52%)	+17% (+59%)	+3% (+20%)
その他(2)	+7%	+12%	+10%	+7%	+16%	+13%	+8%
合計	+13%	+13%	+13%	+13%	+14%	+14%	+7%

(1) ALは2014年度ラウンドアップ売上高全体の約10%を占める

(2) フルララネルを含める



(3) フルララネルを除く

# 農業化学品セグメント概況 - (E) セグメント収益動向

(億円)

	2013実績			2014 下予想 (14/11発表)	2014実績 (A)				2015予想 (B)				増減 (B) - (A)				増減率 (B) - (A)			
	上	下	計	下	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計	上	(1Q)	下	計
売上高	160	231	391	268	185	123	272	457	209	131	276	485	+24	+8	+4	+28	+13%	+7%	+2%	+6%
営業利益	24	38	62	51	40	40	52	92	51	38	45	96	+11	-2	-7	+4	+29%	-5%	-15%	+4%

## 2014下実績

<前年比>

- ◆ 増収: ラウンドアップ、アルテア(国内・輸出)、輸出品(パーミット・パルサー・タルガ)
- ◆ 減収: シリウス
- ◆ フルララネル増収
- ◆ 消費増税反動影響(国内)
- ◆ R&D費用増
- ◆ 売上高+41億円(+17%)、営業利益+14億円(+37%)

## 2014下実績

<2014/11業績予想比>

- ◆ 売上高上ぶれ: タルガ(輸出)、フルララネル
- ◆ 売上高下ぶれ: ラウンドアップ、シリウス
- ◆ 売上高+4億円、営業利益+1億円

## 2014実績

<前年比>

- ◆ 増収: ラウンドアップ、アルテア(国内・輸出)輸出品(パーミット・パルサー・タルガ)、新導入剤
- ◆ 減収: シリウス
- ◆ フルララネル増収
- ◆ 消費増税反動影響(国内)
- ◆ 売上高+66億円(+17%)、営業利益+30億円(+48%)

## 2015予想

<前年比>

- ◆ 増収: ラウンドアップ、アルテア(国内・輸出)、シリウス、輸出品(パーミット・パルサー)
- ◆ 減収: タルガ
- ◆ フルララネル増収
- ◆ 2014年の消費増税反動影響から回復(国内)
- ◆ R&D費用増
- ◆ 売上高+28億円(+6%)、営業利益+4億円(+4%)

(白紙)



# 医薬品セグメント概況 – (B) リバロ

	2013実績	2014予想 (2014/11発表)	2014実績	2015予想
国内末端売上高（薬価ベース、億円）	526	-	345	-
マーケットシェア (1)	21%	-	16%	-
当社原薬売上高（国内外合計、億円）	102	68	69	57
当社原薬売上高 前年同期比成長率 (うち国内)	-2% (-2%)	-33% (-46%)	-32% (-46%)	-17% (-28%)

(1) 後発品除く

- ◆ 2014年度 国内シェア約16%
- ◆ 生物科学研究所整備投資（農業化学品と共通）

- ◆ 2013年 1-2月 結晶形特許成立
- ◆ 2013年 8月 国内化合物特許満了
- ◆ 2014年薬価改定（約-5%）

- ◆ 結晶形特許 特許権侵害訴訟提起 合計16社（2015年3月末時点）
- ◆ 2014年4月米国で後発品に対する特許権侵害訴訟提起  
(ANDA訴訟: Abbreviated New Drug Application訴訟)

## 2014年度マーケットシェア(1)

クレストール	48%
リピトール	21%
<b>リバロ</b>	<b>16%</b>
メバロチン	9%



# 医薬品セグメント概況 – (C) リバロ 世界開発販売状況

地域名	国名	上市時期	販売担当企業名
アジア	日本	2003年9月	興和創薬
	韓国	2005年7月	JWPコーポレーション
	タイ	2008年1月	バイオフาร์ม・ケミカル
	中国	2009年7月	興和(上海)医薬諮詢有限公司
	インドネシア	2012年5月	タナベインドネシア(田辺三菱製薬)
	台湾	2012年6月	台田薬品股份有限公司(田辺三菱製薬)
北米	米国	2010年6月	興和KPA
中南米	メキシコ、ブラジル、 コロンビア、ベネズエラ	2012年2月～	イーライリリー
欧州	スペイン、ポルトガル、 ウクライナ、ギリシャ	2011年5月～	レコルダッチ
	スイス	2013年1月	イーライリリー
中近東	レバノン、ヨルダン、UAE、 クウェート、サウジアラビア	2011年3月～	アルゴリズム

計 21ヶ国で販売中

# 医薬品セグメント概況 – (D) パイプライン

製品	市場		開発状況	パートナー	市場規模
<b>NT-702</b> (間欠性跛行・喘息治療薬)	国内	間欠性跛行	・臨床開発中止 (間歇性跛行、喘息Phase II)	・大正製薬との ライセンス契約終了 ・新たな導出先検討中	200-300 億円
		喘息			200 億円
<b>NTC-801</b> (不整脈治療薬)	国内	海外	・臨床開発中止 ・開発方向性見直し中	・帝人ファーマ、ブリストル マイヤーズ・スクイブとの ライセンス契約終了につき 協議中	100万人 (2015推定患者数)
					840万人 (2015推定患者数)
<b>NIP-022</b> (血小板減少症治療薬)			・Phase I 完了(健常人) ・CIT患者対象臨床試験中止	・小野薬品工業との ライセンス契約終了(2014/4) ・新たな導出先検討中	35万人 (CIT推定国内患者数)

CIT: 抗悪性腫瘍剤投与に伴う血小板減少症

- ◆ 戦略的に構築した化合物ライブラリーを駆使し、  
糖・脂質、循環、免疫、造血、疼痛の5分野での創薬を目指す

# 医薬品セグメント概況 – (E) ファインテック

- ◆ 医薬品開発研究参加型事業で、前臨床から商業生産まで、原薬・中間体製造、プロセス研究を受託
- ◆ 2013年 10月 経営資源(合成技術、製造・研究・品質管理体制)の効率的運用とシナジーを狙い、医薬品事業部と統合し、創薬事業と受託事業の二本柱とした

## 2014売上高実績

<上期前年比>

<下期前年比>

<下期2014/11業績予想比>

増収(既存契約出荷増、新規契約獲得)

増収(既存契約出荷増)

予想通り

## 2015売上高予想

<年間前年比>

増収(既存契約出荷増、ジェネリック医薬品原薬製造へ進出)

前年同期比 連結売上高成長率								
2014予想 (2014/11 発表)			2014実績			2015予想		
上実績	下	計	上	下	計	上	下	計
+44%	+45%	+44%	+44%	+45%	+45%	+15%	+22%	+18%

# 医薬品セグメント概況 – (F) セグメント収益動向

(億円)

	2013実績			2014 下予想 (14/11発表)	2014実績 (A)			2015予想 (B)				増減 (B) - (A)			増減率 (B) - (A)					
	上	下	計	下	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計	上 (1Q)	下	計				
売上高 (1)	64	52	116	38	50	25	38	88	45	18	40	85	-5	-7	+2	-3	-10%	-28%	+5%	-4%
営業利益 (1)	31	18	49	3	16	8	7	23	12	2	9	21	-4	-6	+2	-2	-25%	-75%	+27%	-9%

(1) 旧セグメントを新セグメントに組み替え

## 2014下実績 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収(既存契約出荷増)
- ◆ リバロ米国ANDA訴訟費用増
- ◆ 売上高-14億円(-27%)、営業利益-11億円(-60%)

## 2014下実績 <2014/11業績予想比>

- ◆ リバロ売上高上ぶれ(国内予想通り、輸出上ぶれ)
- ◆ ファインテック売上高予想通り
- ◆ 売上高予想通り、営業利益+4億円

## 2014実績 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収(既存契約出荷増、新規契約獲得)
- ◆ リバロ米国ANDA訴訟費用増
- ◆ 売上高-28億円(-24%)、営業利益-26億円(-53%)

## 2015予想 <前年比>

- ◆ リバロ減収(国内減収、輸出増収)
- ◆ ファインテック増収(既存契約出荷増、ジェネリック医薬品原薬製造へ進出)
- ◆ リバロ米国ANDA訴訟費用増も、固定費微増
- ◆ 新規パイプライン一時金
- ◆ 売上高-3億円(-4%)、営業利益-2億円(-9%)

# セグメント別 設備投資・減価償却・研究開発費用

(億円)

	設備投資(2)					減価償却(3)					研究開発費用					売上高比率
	2011	2012	2013	2014	2015E	2011	2012	2013	2014	2015E	2011	2012	2013	2014	2015E	
化学(1)	16	9	12	14	16	25	16	14	14	15	8	4	4	5	6	1.7%
機能性材料	22	31	43	52	68	43	37	32	36	59	62	65	63	67	77	14.9%
農業化学	21	25	13	18	12	18	19	20	18	15	28	30	35	35	37	7.6%
医薬(1)	17	8	6	4	5	10	15	12	9	9	25	26	29	27	24	28.2%
卸売	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	-
その他	6	8	14	10	6	8	7	6	7	5	13	12	11	16	16	-
合計	83	81	88	98	108	105	95	85	85	104	136	137	142	150	160	

(1)セグメント組替 (研究開発費売上高比率) 9.2% 8.9% 8.7% 8.7% 8.9%

2011 ー 旧セグメント  
2012~2015 ー 新セグメント(FTは医薬に組替)

(2)設備投資額  
実績 ー 検収ベース  
予想 ー 稼働開始ベース

研究所総合職人員(14/9) -①	413(単体ベース)
総合職人員(14/9) -②	1,043(単体ベース)
①/②	40%

(3)減価償却法  
サンエバー・ARC® ー 4年定率(初年度50%を償却)  
その他製品 ー 8年定率(初年度25%を償却)

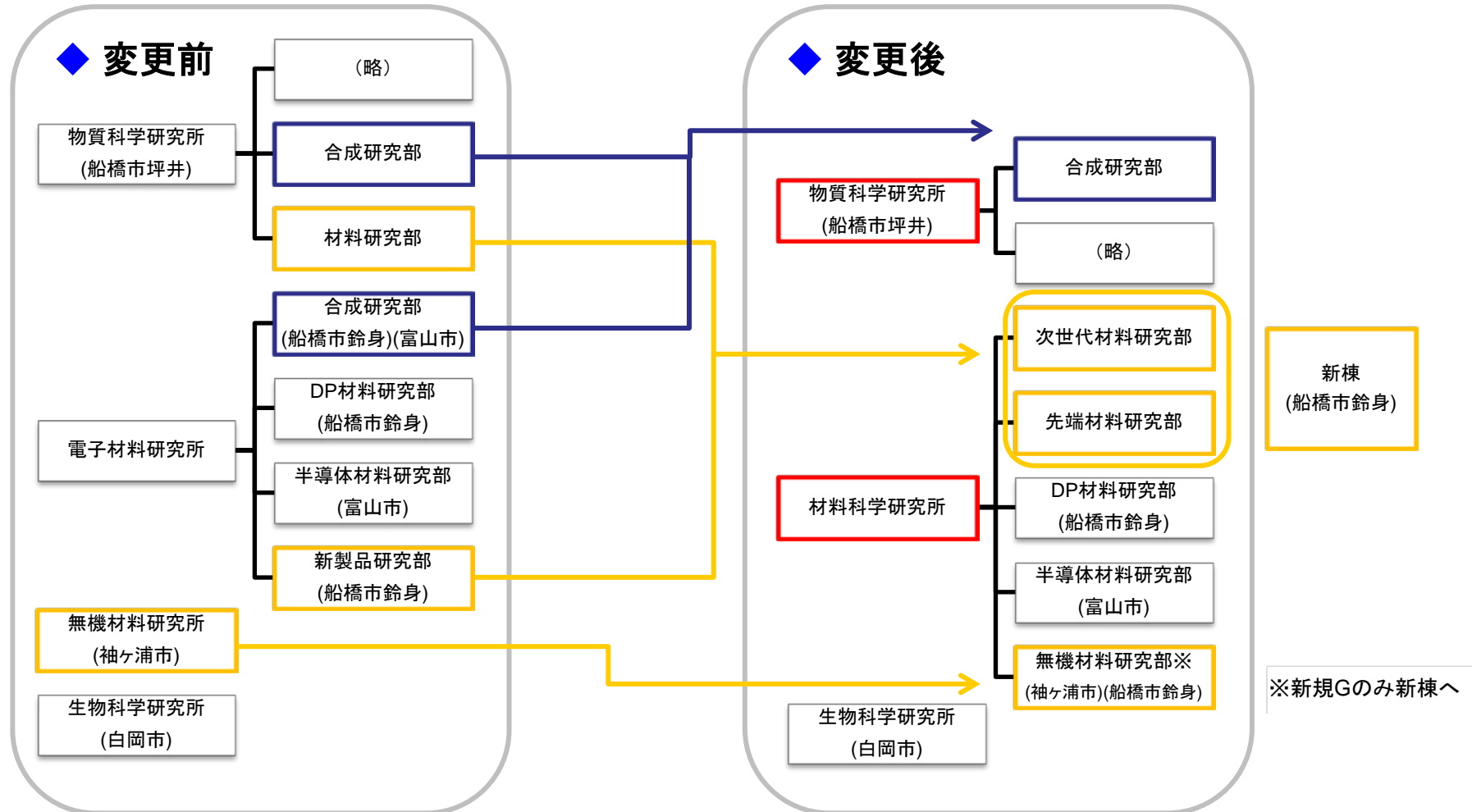
# 主要設備投資(承認ベース)

(億円)

2013実績		2014実績		2015予想	
項目	金額	項目	金額	項目	金額
物質科学研(機器)	8	生物科学研第5期(施設)	13	材料研(機器)	18
電材研(機器)	8	半導体(評価機器)	11	半導体(評価機器)	9
生物科学研第4期(施設)	5	アンモニア原料転換	11	テピック増強	3
		電材研(機器)	9	生物科学研(機器)	3
		無機品質向上工事	7	NCK R&Dセンター(機器)	2
		物質科学研(機器)	6		
		NCK R&Dセンター(機器)	3		

# 研究体制の変更(2014年10月)

- ◆ 電子材料研究所(船橋市鈴身)内の新棟完成(34億円)を機に、新事業・新製品の早期創出を狙い、
  - (1) 散在していた材料研究を集約し(半導体を除く)、ディスプレイ材料研究部に加え、先端材料研究部、次世代材料研究部、無機材料研部を新設
  - (2) 電子材料研究所と無機材料研究所を、材料科学研究所に統合
  - (3) 材料科学研究所 半導体材料研究部は富山で変更なし



# 財務施策

## (1) 自己株式取得

- ◆ ROE向上を目的に2006年度より開始
- ◆ 2006-14年度取得総額365億円、2,882万株（取得開始前発行済株式の15.4%）
- ◆ 2006-14年度取得株は消却済

### 2006-14年度 自己株式取得実績

(1) 単位未満株式買取を除く (2) 単位未満株式を含む

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	合計
自己株式取得総数（千株）(1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	28,820
取得価額総額（億円）(1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	365
自己株式消却総数（千株）	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	29,635
発行済株式総数（百万株）	185	181	174	174	171	171	165	161	158	
期末自己株式数（千株）(2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	
株主総還元性向 （配当+自己株式取得）(%)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	

- ◆ 2015年5月12日発表 取得株式総数：2,500千株  
取得総額：60億円  
取得期間：2015年5月13日～8月31日

## (2) キャッシュマネジメント（単体ベース）

目標現預金残高水準

= 必要下限額 + 流動性リスク対応 [1/3 × (長期借入金年間返済予定額 + 短期借入残)]  
+ 偶発リスク対応



# 中期経営計画 Vista2015 Stage II (2013-2015)

## 2013年5月発表と2015年予想 - 数値目標 (A-1)

1. PL	中計		実績 2014	今次予想 2015	(億円)
	2012実績	2015			
売上高	1,538	1,800	1,712	達成見込み 1,810	
営業利益	195	260	253	達成見込み 265	
経常利益	205	265	264	達成見込み 276	
当期純利益	139	185	182	達成見込み 206	
EPS(円)	84.00	113.00	前倒し達成 113.99	達成見込み 131.66	
為替レート(円/ドル)		85	117	120	
ナフサ(円/kl)		61,000	63,100	54,800	

(億円)

2. セグメント(1)	中計				今次予想		差異	
	売上高 (2)		営業利益		売上高	営業利益	売上高	営業利益
	2012実績	2015 (C)	2012実績	2015 (D)	2015 (E)	2015 (F)	(E) - (C)	(F) - (D)
化学品他 (3)	704	775	21	36	744	46	-31	+10
機能性材料	374	538	72	113	517	108	-21	-5
農業化学品	354	408	50	76	485	96	+77	+20
医薬品	106	79	52	35	64	15	-15	-20
<b>合計</b>	<b>1,538</b>	<b>1,800</b>	<b>195</b>	<b>260</b>	<b>1,810</b>	<b>265</b>	<b>+10</b>	<b>+5</b>

(1) 旧セグメントベース

(2) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

(3) 化学品他は、卸売、その他、調整を含む

# 中期経営計画 Vista2015 Stage II (2013-2015)

## 2013年5月発表と2015年予想 - 数値目標 (A-2)

### 3. セグメント別売上高差異要因イメージ

	売上高差異 2. (E) - (C)	2015予想 > 中計	2015予想 < 中計
化学品他 (3)	-31	メラミン(国内・輸出)、 テピック(一般)	アンモニア、高純度硫酸、 テピック(電材・液状)、肥料、 尿素・アドブルー、環境化学品
機能性材料	-21	IPS/FFS、光IPS、 ARC®(ArF・KrF・多層材料)	TN、VA、その他ディスプレイ材料、 スノーテックス(一般・研磨)、オルガノゾル、 新製品
農業化学品	+77	フルララネル、ラウンドアップ、 アルテア、シリウス、海外	ライメイ
医薬品	-15		リバロ(国内・輸出)、 ライセンス一時金
<b>合計</b>	<b>+10</b>		

# 中期経営計画 Vista2015 Stage II (2013-2015)

## 2013年5月発表と2015年予想 - 数値目標 (B)

### 3. ターゲットとする経営指標

- ◆ ROE(当期純利益/期中平均自己資本)を継続して最重視(資本の効率活用)
  - 2015年13.4%(中計) →2015年予想 13.4%

中計目標達成見込み
- ◆ 売上高営業利益率(高付加価値企業)
  - 2015年14.4%(中計) →2015年予想 14.6%

中計目標達成見込み
- ◆ 配当性向30%以上維持(中計)
  - 自己株式取得は機動的に対応 →2015年予想 30.4%

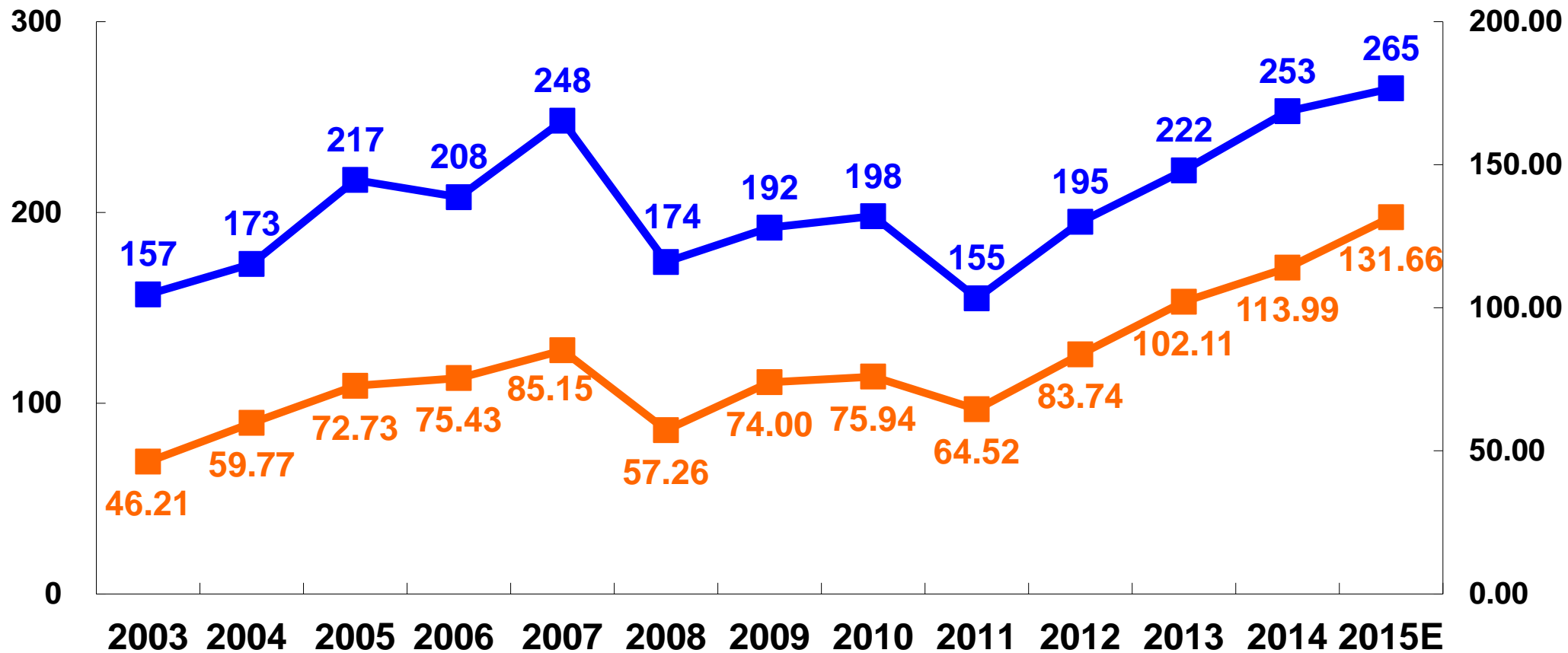
中計目標達成見込み
- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
  - 売上高研究開発費比率9%以上(中計) →2015年予想 8.9%

(白紙)

# 長期業績推移

営業利益  
(億円)

EPS  
(円/株)



# 長期業績推移

(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015E
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,810
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	265
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	276
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	206
EBITDA	261	269	316	305	345	276	301	302	259	290	308	338	369
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	14.6%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	13.4%
EPS(円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	131.66
配当(円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	40
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.4%
自己株式取得	-	-	-	47	50	80	-	28	-	50	50	60	60
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	-
現預金	59	43	85	110	76	97	148	211	279	319	308	313	-
有利子負債	574	446	415	324	344	455	421	399	389	381	361	351	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	-
設備投資	66	66	92	121	109	139	101	96	83	81	88	98	108
減価償却費	104	96	99	97	97	102	110	104	105	95	85	85	104
R&D	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	160
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%

# 2011-13 2Q 四半期別セグメント別売上高(旧セグメント)<sup>(1)</sup>

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	94	92	90	93	369	91	88	89	98	366	95	91
ファイン	30	29	24	26	109	29	27	24	32	112	29	31
基礎	64	63	66	67	260	62	61	65	66	254	66	60
機能性材料	87	83	86	84	340	95	93	95	91	374	103	103
農業化学	71	54	37	176	338	83	51	46	174	354	99	61
医薬	29	23	24	24	100	35	18	31	22	106	29	28
卸売	116	109	108	115	448	119	108	125	114	466	127	118
その他	46	47	43	64	200	39	63	46	64	212	46	51
調整額	-77	-76	-73	-83	-309	-78	-94	-86	-82	-340	-97	-90
<b>合計</b>	<b>366</b>	<b>332</b>	<b>315</b>	<b>473</b>	<b>1,486</b>	<b>384</b>	<b>327</b>	<b>346</b>	<b>481</b>	<b>1,538</b>	<b>402</b>	<b>362</b>

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2011-13 2Q 四半期別セグメント別営業利益(旧セグメント)

(億円)

	2011実績					2012実績					2013実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
化学	10	-2	6	2	16	8	0	4	7	19	8	0
機能性材料	17	9	11	11	48	21	20	16	15	72	21	23
農業化学	12	-4	-15	51	44	16	-3	-11	48	50	23	1
医薬	14	12	10	10	46	19	7	16	10	52	16	15
卸売	4	3	3	3	13	4	3	4	3	14	4	3
その他	0	0	-1	4	3	-1	2	1	5	7	1	1
調整額	-5	-4	-4	-2	-15	-4	-6	-5	-4	-19	-6	-4
<b>合計</b>	<b>52</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>79</b>	<b>155</b>	<b>63</b>	<b>23</b>	<b>25</b>	<b>84</b>	<b>195</b>	<b>67</b>	<b>39</b>



# 2012-14 四半期別セグメント別売上高(新セグメント)<sup>(1)</sup>

(億円)

	2012実績					2013実績					2014実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	86	83	87	89	345	93	86	88	88	355	85	82	91	85	343
ファイン	24	22	22	23	91	27	26	23	23	99	27	26	28	25	106
基礎	62	61	65	66	254	66	60	65	65	256	58	56	63	60	237
機能性材料	95	93	95	91	374	103	103	111	111	428	118	124	130	122	494
農業化学	83	51	46	174	354	99	61	55	176	391	123	62	57	215	457
医薬	40	23	33	31	127	31	33	30	22	116	25	25	21	17	88
卸売	119	108	125	114	466	127	118	128	134	507	141	132	141	130	544
その他	39	63	46	64	212	46	51	49	68	214	38	47	46	78	209
調整額	-78	-94	-86	-82	-340	-97	-90	-89	-98	-374	-105	-98	-107	-113	-423
<b>合計</b>	<b>384</b>	<b>327</b>	<b>346</b>	<b>481</b>	<b>1,538</b>	<b>402</b>	<b>362</b>	<b>372</b>	<b>501</b>	<b>1,637</b>	<b>425</b>	<b>374</b>	<b>379</b>	<b>534</b>	<b>1,712</b>

(1)セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 2012-14 四半期別セグメント別営業利益(新セグメント)

(億円)

	2012実績					2013実績					2014実績				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
化学	9	-2	4	8	19	10	-2	6	5	19	10	-6	6	9	19
機能性材料	21	20	16	15	72	21	23	23	21	88	33	34	32	21	120
農業化学	16	-3	-11	48	50	23	1	-8	46	62	40	0	-5	57	92
医薬	18	9	16	9	52	14	17	14	4	49	8	8	4	3	23
卸売	4	3	4	3	14	4	3	4	4	15	5	4	5	3	17
その他	-1	2	1	5	7	1	1	1	5	8	-1	0	1	6	6
調整額	-4	-6	-5	-4	-19	-6	-4	-5	-4	-19	-6	-4	-7	-7	-24
<b>合計</b>	<b>63</b>	<b>23</b>	<b>25</b>	<b>84</b>	<b>195</b>	<b>67</b>	<b>39</b>	<b>35</b>	<b>81</b>	<b>222</b>	<b>89</b>	<b>36</b>	<b>36</b>	<b>92</b>	<b>253</b>

# セグメント別売上高、営業利益推移

(億円)

		2010		2011		2012		2013		2014		2015E	
(1)	化学	381	24.7%	369	24.8%	345	22.4%	355	21.7%	343	20.0%	358	19.8%
	機能	380	24.6%	340	22.9%	374	24.3%	428	26.1%	494	28.9%	517	28.6%
	農化	344	22.3%	338	22.7%	354	23.0%	391	23.9%	457	26.7%	485	26.8%
	医薬	96	6.2%	100	6.7%	127	8.3%	116	7.1%	88	5.1%	85	4.7%
	卸売	441	28.6%	448	30.1%	466	30.3%	507	31.0%	544	31.8%	601	33.2%
	他	270	17.5%	200	13.5%	212	13.8%	214	13.1%	209	12.2%	212	11.7%
	調整	-370	-24.0%	-309	-20.8%	-340	-22.1%	-374	-22.8%	-423	-24.7%	-448	-24.8%
	合計	1,542	100%	1,486	100%	1,538	100%	1,637	100%	1,712	100%	1,810	100%

(2)	化学	24	12.1%	16	10.3%	19	9.7%	19	8.6%	19	7.5%	36	13.6%
	機能	79	39.9%	48	31.0%	72	36.9%	88	39.6%	120	47.4%	108	40.8%
	農化	48	24.2%	44	28.4%	50	25.6%	62	27.9%	92	36.4%	96	36.2%
	医薬	44	22.2%	46	29.7%	52	26.7%	49	22.1%	23	9.1%	21	7.9%
	卸売	14	7.1%	13	8.4%	14	7.2%	15	6.8%	17	6.7%	19	7.2%
	他	10	5.1%	3	1.9%	7	3.6%	8	3.6%	6	2.4%	5	1.9%
	調整	-21	-10.6%	-15	-9.7%	-19	-9.7%	-19	-8.6%	-24	-9.5%	-20	-7.5%
	合計	198	100%	155	100%	195	100%	222	100%	253	100%	265	100%

(3)	化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	10.1%
	機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	20.9%
	農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	19.8%
	医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	24.7%
	卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%
	他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%
	合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	14.6%

		2012		2013		2014	
(4)	セグメント	270	13.6%	258	12.4%	252	11.3%
	資産	343	17.2%	380	18.3%	439	19.6%
		467	23.4%	486	23.4%	536	23.9%
		146	7.3%	127	6.1%	114	5.1%
		173	8.7%	181	8.7%	185	8.3%
		92	4.6%	91	4.4%	99	4.4%
		501	25.2%	557	26.8%	614	27.4%
	合計	1,992	100%	2,080	100%	2,239	100%

(5) = (2)/(4)	ROA	7.0%	7.4%	7.5%
		20.9%	23.2%	27.3%
		10.8%	12.8%	17.2%
		36.0%	38.9%	20.2%
		7.8%	8.3%	9.2%
		7.5%	8.3%	6.1%
		9.8%	10.7%	11.3%

(1)2010-2011 : 旧セグメント, 2012-2015E : 新セグメント

(2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# 主要製品用途

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル テピック メラミンシアヌレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品 メラミン 尿素、アトフルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレシストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤 塩素化イソシアヌール酸： プール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトフルー（ディーセル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性材料	<p>◆電子材料 サンエハー ARC®（KrF、ArF、多層材料）</p> <p>NHC OPTIFOCUS エルソース</p> <p>◆無機コロイド材料 スノーテックス</p> <p>オルガノシリカゾル アルミナゾル サンコロイド セルナックス</p>	<p>液晶配向材用ホリミド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料（Si-HM、SOC） *ARC®はBrewer Science, Inc. の登録商標 タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： シリコンウェハー・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理 有機溶媒分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止</p>
農業化学品	<p>◆除草剤 タルカ パーミット シリウス ラウンドアップ アルテア(NC-620)</p> <p>◆殺虫剤 サンマイト、マイトコーネ、スターマイト</p> <p>◆殺菌剤 パルサー、イカルガ、クレータム (チフルサミド) ライメイ</p> <p>◆動物薬 フルララネル(フラベクト)</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜</p> <p>芝、稻、ばれいしょ</p> <p>野菜</p> <p>ペット用外部寄生虫薬フラベクト原薬</p>
医薬	<p>リハロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品研究開発参加型事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	



Made by  
NISSAN CHEMICAL

ひとつひとつの製品に信頼のブランドを添えて

# 免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。